

日本測量者連盟会員の皆様

日頃より、日本測量者連盟の活動に、ご理解、ご支援いただきましてありがとうございます。
FIG よりメッセージが届きましたので会員の皆様に展開いたします。

日本測量者連盟

FIG ニュースレター 2025 年 8 月号 FIG からのお知らせ

ご注意: 原文 (英文) をご覧になりたい方は、[ブラウザでニュースレターにアクセス](#)してください。

国際測量者連盟 FIG

訳注: 今号は前月号の記事との重複が多いため、新規のニュースには見出しに★を付けています。

★FIG の運営にご関心がありますか? 貴協会は FIG の将来に影響力を持ちたいとお考えですか? 加盟協会 (正会員) は、FIG 会長または副会長のポストに国内メンバーを推薦することを検討されるようお勧めします。推薦募集についての詳細をご覧ください。ご不明な点がございましたら、FIG エンゲージメント委員会までお問い合わせください。お手伝いいたします。フランクフルトで開催される Intergeo にご参加ですか? その際は FIG ブースにお立ち寄りいただくか、面談の手配も可能です。2028 年はまだ先ですが、この特別な年は確実に近づいています。記念すべき作業週間の準備状況についての詳細をご覧ください。現在に戻りましょう——FIG 大会 2026 への論文要旨投稿と登録受付が開始されました。今こそ旅行計画を立てる時です。今回の FIG ニュースレターで、開催内容の詳細をご覧ください、8 月の今月の記事で気分を盛り上げていただき、さらに多くの情報をお届けします。

★会長及び 2 名の副会長の推薦募集

FIG 加盟協会 (正会員) に、2027-2030 年の会長および副会長の候補者を推薦するよう奨励しています。

[続きを読む...](#)

FIG 大会 2026 - 技術プログラムへの参加枠を確保しましょう

第 28 回 FIG 大会 「私たちが望む未来 - SDGs とその先へ」

2026 年 5 月 24 日～29 日、南アフリカ、ケープタウン

論文募集

2026 年に南アフリカのケープタウンで開催される、測量および地理空間分野の専門家による最大かつ最も権威のある会議にご招待いたします。FIG 大会は 4 年ごとに開催される主要なイベントであり、新しい FIG 会長および 2 人の副会長の選挙も行われます。さらに、5 月 25 日から 28 日までの 4 日間にわたる会議では、大規模な技術プログラムも実施されます。

プログラムへの参加枠を確保してください。

大会の全体テーマは「私たちが望む未来 - SDGs とその先へ」です。

2026 年の FIG 大会は、専門家である皆様に次のような機会を提供します。

- 80～90 カ国からの参加により、グローバルに学び、情報を共有する
- 幅広い分野の専門家によるセッションや発表により、専門分野、文化、世代、セクター、職業の枠を超えたネットワークを構築する
- キャリア、組織、コミュニティにインパクトを与える
- 集中して、共同作業に専念できる、邪魔の入らない現場での時間を楽しむ

SDGs はすべてのセッションの中心的テーマとなり、測量技術者がこれらの目標とその先にわたる解決策をどのように探求し、実現していくかを明らかにします。測量技術者の声は、今後数年内に策定される 2030 年以降の次期地球規模の開発アジェンダに反映される必要があります。

[さらに詳しい情報を読んで論文要旨を投稿しましょう。](#)

[論文募集を読む](#) | [論文募集の PDF 版](#)

[2026 年サーベイ・レビュー隔年賞](#) – 優れた査読論文を執筆したヤング・サーベイヤーに授与されます。

ダイアン・デュマシーFIG 会長が、大会に参加し、論文要旨を提出すべき理由について語っています。

⇒ <https://youtu.be/5cbkb3alfyk>

貴社/貴団体、製品、サービスを特別な聴衆にアピールしましょう。

大会期間中、貴社や貴団体をアピールするためのさまざまなスポンサーシップや展示の機会が用意されています。

FIG 会議の特質および特徴のひとつは、土地測量士、地理空間専門家、鑑定士、積算士、水路測量士など、最も広い意味での測量のあらゆる分野の専門家が参加していることです。FIG は、これらのさまざまな測量の職業や専門家を一堂に集め、相互の分野における協力と理解を深めています。

参加者は通常、以下の通りです：

- 1/3 公共/政府機関
- 1/3 民間専門家
- 1/3 学術機関

スポンサーシップと出展の機会について詳しくはこちら：

- [スポンサーシップ](#)
- [展示](#)

★今すぐ登録して旅程を計画してください。

以下の 3 つの手順のとおりです：論文要旨を提出する | プレイベント・交流会を含む登録を行う | ホテル・観光ツアー・航空券を予約する

[登録受付](#)を開始しました。会議の登録とあわせて、以下の[プレイベント](#)の提供内容をご確認ください。

- [ヤング・サーベイヤーズ会議](#)
- [実務者のための基準座標系セミナー](#)
- [土地の価値と地籍](#)－AI 時代に不動産の透明性を支える両輪
- [気候変動対策が不動産価格に与える影響と現実検証](#)：評価モデルとデータは目的に適合しているか？

ガラディナーはゴールドレストランで開催され、南アフリカの趣きあふれる活気ある夜となるでしょう。

大会に関する詳細情報や最新ニュースは、大会ウェブサイトをご覧ください。

www.fig.net/fig2026/

★FIG からのお知らせ

インタージオで FIG と会いましょう - 「Verbandepark - ブース 1A021」でお待ちしております。

FIG を通じてこの大規模見本市への無料入場券を入手できます。10 月 7 日～9 日、ドイツ・フランクフルトでお会いできることを楽しみにしております。

[続きを読む...](#)

FIG 作業週間 2028～記念すべき特別年～を楽しみにしています。

ダイアン・デュマシーFIG 会長は、作業週間の準備のため、フィルハーモニーPhilharmonie とシテ・デ・シアンス Cité des Sciences のふたつの会場の現地視察に臨み、フランス現地組織委員会の代表者と会談しました。

[続きを読む…](#)

新規出版物とニュースレター

FIG 第 10 分科会（建設経済と管理）の書籍刊行

マレーシアの UCSI 大学所属のナジラ・Hj・ザイノルディンとクー・スイ・ライが、BIM、AI、IoT、スマートインフラなどデジタル技術が建設環境をどのように持続可能な未来へと変革しているかを考察した啓発的な書籍を執筆しました。

実践的な応用と実世界のケーススタディに焦点を当て、特にマレーシアの事例を交えながら、デジタル化が効率性を向上させ、環境への影響を軽減し、レジリエントな都市開発を支援する方法を明らかにしています。測量、建築、土木、都市計画の分野の専門家を対象に、2050 年を見据えた先見的なビジョンを提供し、イノベーションの採用を促す呼びかけをしています。「明日への眼差し The Eyes for Tomorrow」は、持続可能な建設と建設環境におけるデジタル変革の未来を形作る人々にとって、まさに適切な資料です。著者は FIG を通じて本書をすべての人々に無償で提供しており、多くの方々がこの恩恵を受けることを私たちは願っています。

[書籍をダウンロード \(PDF\)](#) (1MB)

[出版物 83：行動への呼びかけ：気候変動に対応した土地統治と災害への強靱性。土地の権利の保護](#)

本書は、ネパールで開催された FIG 地域会議 2024 の成果です。「行動への呼びかけ」の全文と、セッションとディスカッションの結果をお読みください。[続きはこちら](#)

[出版物 84：土地管理ドメイン・モデル：その概要と教室における LADM](#)

FIG 出版物 No.84 の概説版は LADM の手引書であり、LADM の概要を説明しています。この出版物は、なぜ LADM が必要なのか、どのように設計されているのか、LADM とは何なのか、そしてどのような利点があるのか、といった LADM について詳しく知りたいすべての人を対象としています。この概説書には、研修や 高等教育に焦点を当てた「教室における LADM」と題された増補版があります。

[続きはこちら](#)

[出版物を PDF で読む](#)

増補版では、土地管理ドメイン・モデル (LADM) を実例を通して紹介しています。まず、LADM の中核となる概念の概要を説明し、次に、LADM を使用して、さまざまな人と土地の関係に関するデータをどのように整理できるかを解説しています。各事例は、土地管理システムで遭遇するシナリオを表しています。各事例で使用されているシナリオは、ワッターバーという仮想の町とその周辺の農村地域の土地管理システムから導き出されています。

特定のシナリオを表すそれぞれのケースは、概念的に、またデータが具体的に保存されているデータベースの簡略化された表現を使って提示されています。デモ用データセット、付随する GIS プロジェクト、再利用可能なスライドはオンラインで入手可能です。詳しくは本書をご覧ください。

[続きを読む](#)

[PDF で読む](#) (20 MB)

★会員およびパートナーからのニュース

アラブ・ランド・イニシアティブ Arab Land Initiative

アラブ・ランド・イニシアティブは、新たに発行された[第3回アラブ土地会議報告書](#)を共有させていただきます。2025年2月18日から20日にかけてモロッコ・ラバトで開催された第3回アラブ土地会議は、アラブ地域全体における健全な土地統治を推進する上で重要な節目となり、各国の経験交流と研究成果の発表のための、また土地関連投資を導き、土地セクター改革への政治的コミットメントを新たにする政策方向性に関する対話のための戦略的フォーラムとなりました。ダイアン・デュマシーFIG会長が会議に出席しました。

分科会及びネットワーク会合

第7分科会 年次総会および FIG 合同土地管理会議

2025年11月3日～5日、ブラジルのフロリアノポリスで開催

[論文要旨の投稿および詳細情報](#)

[英語版チラシ](#)

FIG 第8分科会 年次総会「土地と空間統治における責任ある知識移転とイノベーション」は、第6回ルーマニア測量週間中（2025年10月21日～25日）に開催されます。同じく、**第2分科会**は教育に関するラウンドテーブルを主催します。

[詳しくはこちら](#)

ヤング・サーベイヤーズ会議

2025年10月17日～18日：アメリカ合衆国ミネソタ州ミネアポリス

第2回 FIG ヤング・サーベイヤーズ・アメリカ地域会議 2025：ダイナミックな業界を支える明日の測量者のスキルを育成する。

[詳しくはこちら](#)

2025年10月27日～28日、ケニア、モンバサ

第4回 FIG ヤング・サーベイヤーズ・アフリカ地域会議 (4YSAM) で、アフリカ全土から来る若い地理空間分野のリーダーたちと合流しましょう。

テーマ：牽引せよ。革新せよ。変革せよ。

登録料：150 ドル

ボーナス:100 ドル追加するだけで、第 10 回 ISK ARC/CASTLE 会議にも参加できます。
[詳しくはこちら](#)

賞と表彰

- サラ・セイシー賞 2025、2025 年 8 月 31 日締め切り（訳注：終了しました）
- EAASI 優秀論文賞、2025 年 8 月 31 日締め切り（訳注：終了しました）
- アベル賞。2025 年 9 月 1 日締め切り（訳注：終了しました）

[公開中の賞と表彰を確認してください。](#)

★今月の記事

2025 年 8 月の今月の記事は、南アフリカのノジフォ・マドララによる FIG 作業週間 2025 での発表「[次世代測量士を育成する：リーダーシップ、メンターシップ、そして課題克服の旅](#)」です。本稿では、綿密なリーダーシップ開発、体系化されたメンターシップ過程、そして職業の現実との粘り強い関わりを通じて、新進の測量者をいかに育成できるかを探求しています。[記事を読む](#)

今後のイベント

2025 年 8 月 21 日～22 日：パプアニューギニア、モロベ州、イースト・タラカ、レイ GeoPNG 大会 2025：パプアニューギニア工科大学（PNG UoT）タラカキャンパス、ローズ・ケケド講堂ホワイエで、パプアニューギニア初の全国地理空間大会が開催されます。大会組織委員会は、パプアニューギニア国内外のさまざまな分野や組織における地理空間技術の応用に関する知識の交換、学習、共有、発表の機会となるこのエキサイティングなイベントに、皆様を心から歓迎いたします。（訳注：終了しています）

[詳しくはこちら](#)

2025 年 8 月 22 日～24 日、中国・北京

「第 9 回動的・多次元 GIS 国際ワークショップ（9th DMGIS）」が、ISPRS 技術委員会 IV（空間情報科学）が組織委員会となり、北京土木・建築大学の主催で開催。（訳注：終了しています）

[詳しくはこちら](#)

2025 年 9 月 2 日～5 日：アビジャン、コートジボアール

第 10 回フランス語圏測量研修大学。

[詳しくはこちら](#)

★2025 年 9 月 9 日～10 日、ナイジェリア・ラゴス

ESRI ユーザー会議西アフリカ 2025 テーマ：明日を構想する：私たちの世界を形作る地理空間イノベーション

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 2 日～3 日、マコヤ、トリニダード・トバゴ - 現地開催とオンライン

「不動産管理の変革：強靱なカリブ海地域のための測定の動向と課題」をテーマとした地域測量会議およびカクテルレセプション。トリニダード・トバゴ測量協会（ISTT）が主催、FIG が支援。

ウェブサイト：www.instituteofsurveyors.com

2025 年 10 月 7-9 日、ドイツ、フランクフルト

ドイツ DVW 主催の Intergeo 2025。

ウェブサイト：<https://www.intergeo.de/en/welcome-to-intergeo>

2025 年 10 月 15-17 日、チェコ共和国、ブルノ

第 9 回応用測量国際会議（INGEO 2025）、後援：FIG 第 6 分科会（応用測量）ウェブサイト：<https://www.ingeoconference.com/>

2025 年 10 月 17～18 日、米国ミネソタ州ミネアポリス

FIG ヤング・サーベイヤーズ第 2 回南北アメリカ地域会議 2025。

ダイナミックな業界のために、明日の測量者の能力を高める。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 21 日～25 日：ティミショアラ、ルーマニア

第 6 回ルーマニア測量週間（RSW）のテーマは「農業と建設環境の持続可能な開発のための地理空間技術」をテーマに、ルーマニア測量者連合が主催し、ティミショアラ工科大学土木工学部（FCPUT）とティミショアラ生命科学大学「ミハイ 1 世国王」農業学部（ULST）と共同で開催され、FIG 第 2 及び第 8 分科会との協力のもと開催されます。

RSW 期間中、FIG 第 8 分科会年次総会「土地および空間統治における責任ある知識の伝達とイノベーション」が開催されます。

FIG 第 2 分科会は、教育に関するテーマの円卓会議を主催します。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 27 日～28 日、ケニア、モンバサ

第 4 回 FIG ヤング・サーベイヤーズ・アフリカ地域会議（4YSAM）でアフリカ全土から来る若い地理空間分野のリーダーたちと合流しましょう。

テーマ：牽引せよ。革新せよ。変革せよ。

登録料：150 ドル

ボーナス：100 ドル追加するだけで、第 10 回 ISK ARC/CASTLE 会議にも参加できます。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 10 月 27 日～31 日：ケニア、モンバサ

第 10 回 ISK アフリカ地域会議

この会議では、ケニアおよび世界中の政府、民間企業、開発パートナー、学界、政策立案者からのヤング・サーベイヤーズや専門家が一堂に会し、土地および建築分野における地域および国際的な開発への貢献を強化する一環として、ネットワークの構築、アイデアの交換、ベストプラクティスの共有を行います。

[詳しくはこちら](#)

2025 年 11 月 3 日～5 日：ブラジル、フロリアノポリス

FIG 第 7 分科会年次総会および FIG 合同土地管理会議

ONU-Habitat Brasil Social Tenure Domain Model (STDM) 並びに第 13 回国際 FIG ワークショップ「LADM および 3D-LA」及び第 8 分科会年次総会と併せて開催されます。いずれも、サンタカタリーナ連邦大学（UFSC）が主催します。

[論文要旨の投稿および詳細情報](#)

[英語版チラシ](#)

その他のイベント：[イベントページ](#)をチェック

日程をお忘れなく

FIG 大会 2026、南アフリカ、ケープタウン：2026 年 5 月 24 日～29 日 - www.fig.net/fig2026

FIG 作業週間 2027、ノルウェー、スタヴァンゲル：2027 年 5 月 23 日～27 日 - www.fig.net/fig2027

FIG 作業週間 2028、フランス、パリ - FIG 150 周年を祝う：2028 年 6 月 24 日～28 日

以上、よろしくお願いいたします。

国際測量者連盟 局長

ルイーズ・フリス＝ハンセン
